

二学期を振り返って

校長 友善 学

5月1日にスタートした新しい時代「令和」。その記念すべき1年目（元年）がもうすぐ暮れようとしています。「令和」という新しい元号に対する国民の受け止めは、総じて好感を持って受け止められているようで、9月から11月にかけて行われたラグビーワールドカップでの日本代表の大活躍も相まって、文字通り日本全国がワンチームとなった令和元年だったように思います。

また、9月から10月にかけて、台風や大雨などでこれまでにないような大きな災害が起こり、ほんとうに多くの方々が犠牲となり、また被災をされました。いまだに、復旧に目処が立たず、日常生活もままならないほど御苦労されている方々も多くいらっしゃるようです。その方々を支援しようと、様々な形で復旧作業に取り組む多くのボランティアの様子が報道などで取り上げられております。その姿に、真に日本がワンチームとして活動していると実感させていただくことができ、胸が熱くなる思いをしております。

近年、「これまでに経験したことのない」「数十年に1度」などと称される、激しい気象現象が繰り返し起こり、毎年のように大きな災害につながっています。防災、減災に向けた努力、工夫に努めることはもちろんですが、いざ、何か起こった時に互いに助けの手をさしのべることができる、そんな資質がこの災害大国に生活する私たち日本人に必要な資質であると改めて実感しているところです。

さて、校内に目を向けますと、この2学期は比較的天候にも恵まれ、計画をした学習活動はほぼ予定通りに取り組むことができ、子供たちの成長の足跡も、確かなものとして刻まれた2学期となったところです。また、全校での取り組みといたしまして、昨年に引き続き、期間限定ではありますが給食での軟菜食（柔らか食）の提供。同じく給食でのミキサー食のシリンジ注入のモデル実施など、より児童生徒一人一人の状態に応じた教育環境の整備やその内容の充実に努めて参りました。

2学期始業式に、保護者の皆様に報告いたしました1学期の学校事故への対策として、蓄積された事事例を教職員間で共有する取り組みや、学級担任が児童生徒のことで専門職である養護教諭、自立活動教諭、看護師に相談する際、ワンストップでの相談が可能となるよう、これまでそれぞれが独立の部屋としていたものを仕切りや壁を取り払い、ひとつの部屋にするという工夫に取り組みました。確実にその効果は上がっているところです。

保護者の皆様におかれましても、お子様の身体や健康に関することでお悩みのことなどございましたら、是非御活用ください。

さて、いよいよ年が明けましたらオリンピック・パラリンピックイヤーに突入です。また、新年度からは小学部より新たな学習指導要領の基での教育活動がスタートいたします。今後におきましても、その時々々の事柄なども有効に活用しながら、子供たちの確かな成長を促す教育活動の展開に努めて参ります。

平成最後であり、令和最初となるこの記念すべき一年の、皆様方の本校教育への御理解御協力に対し衷心より感謝申し上げます。御支援ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。